

2020 年東京オリンピック アイルランド選手団の ベースキャンプ地に決定！ 今秋にも覚書を締結。

- 本市では、2019 年ラグビーワールドカップを契機としたまちの国際化に取り組んでおり、英語圏であること、ラグビーワールドカップに関連した国や地域であること、エコパを十分に活かすことができる競技団体などをターゲットに誘致活動を進めてきた。
- このたび、アイルランドオリンピック委員会（OCI）とベースキャンプを本市で実施することで合意。
- アイルランドは、2019 年のラグビーワールドカップでもエコパで試合をすることが決まっており、アイルランドとの交流を市民やまちの国際化に活かしていく。

1 概要（予定）

- (1) 練習会場 エコパ（スタジアム、アリーナ、補助競技場等）、袋井市新総合体育館 等
- (2) 滞在期間 2020 年 7 月上旬～8 月上旬
※東京オリンピック開催期間（7.24 開会式～8.9 閉会式）
※種目毎に大会日程が違い、種目、選手毎に滞在期間が異なる。
- (3) 滞在者数 選手 55 人程度
スタッフ 35 人程度（監督・コーチ・トレーニングパートナー等）
協会役員 10 人程度
※過去実績による想定

2 今後の取り組み

- (1) 事前キャンプ実施に伴う覚書の締結
- (2) ホストタウン申請と交流プログラムの実施
- (3) 受入体制の整備
- (4) 東京オリンピック・パラリンピックの気運醸成
- (5) 推進要員

アイルランド出身の CIR（国際交流員）レイチェル ミーハン 8 月 1 日から勤務